

# 「こんにちは松江清心養護学校です」



島根県立松江清心養護学校  
令和8年2月18日 第9号



今月は、「お茶のお点前学習」と「地震があった日のこと」についてお伝えします。ホームページやInstagramでは、松江清心養護学校の行事や授業の様子等が分かる写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。



@SEISHINYOU\_OFFICIAL

## お茶のお点前学習

1月19日(月)に、生馬地区にお住まいの青戸弘子さんを講師としてお招きし、お茶のお点前を教えていただきました。この学習は、“お茶処松江の歴史とお茶の作法を学ぶことで、松江の魅力を再認識してほしい、今後も積極的にお茶を飲み、お茶文化を大切にしてほしい”という思いで計画しました。

何度か点てたことがある人も、初めて点てる人もいましたが、実際に手を取りながら教えていただくことができ、たくさんの学びがありました。お茶の心は「和敬清寂」と言い、亭主と客が心を通わせ(和)、お互いを敬い(敬)、茶室や道具だけでなく心も清らかに保ち(清)、穏やかで何事にも動じない心(寂)が大切であるということの意味するそうです。

茶筌を素早く動かしてきめ細かな泡を作るのは難しい様子でしたが、何杯も点てていくうちにコツを掴んで上達していきました。とても穏やかな雰囲気の中、片付けまでしっかりとマスターできました。



## 学校にとっての地域 地域にとっての学校

年が明けての1月6日(火)午前10時過ぎだったのでは。新学期の準備に多くの職員が学校に居る時に突然の揺れ。「えっ？」三階の職員室には揺れと共に携帯電話からの災害アラートが方々で鳴り、教頭は「机の下に！ 頭を守って！」と大きな声を出し、三階の職員室では机のコーヒーがこぼれたり、書類が机から落ちたりする中、机の下に入ったりヘルメットや頭巾を頭に揺れが収まるのを待ちました。その後、屋外へ避難ということで、避難場所の正面玄関前に集まりました。その時の様子がこの写真です。



1.6 屋外へ避難した様子

皆さんのお宅や職場はどうだったでしょうか。一人で家にいてまた揺れるのではと不安になったり、家で留守番をしている子どもや家族のことが心配になったり、防災グッズはあったかなといろいろなことが頭をよぎったのではないのでしょうか。校舎でもいろいろな箇所にダメージが見受けられました。もし、今回よりも被害の大きい災害が起こった際に、本校校舎及び本校教職員は生馬公民館、生馬小学校と共に避難所として(本校は福祉避難所として)生馬地区で果たす役割があります。改めて松江市の『橋北エリア防災ガイドブック・ハザードマップ』と本校の危機管理マニュアルを読み返しました。なかなか平素は手に取ることがないと思いますが、「備えあれば憂いなし!」と今一度気を引き締めたいと思いました。